

ほっ

スピタル・かいづか

(40) 乳がん検診の大切さ

問合せ先 貝塚病院 ☎072-422-5865

近年、著名人の乳がんの経験をメディアなどで目にする機会が増え、「乳がん」という病気がいっきに有名になりました。女性の生涯で11人に1人が乳がんになると言われており、最も多い年齢は50歳前後、そして60代前半のかたにも多いことが分かっています。乳がんは決して他人ごとではありません。

乳がんは他のがんと比べて有利な特徴が二つあります。一つ目は「自分で発見することができるがん」であることです。乳がんにかかったかたの半数以上が、自分でしこりを発見されています。二つ目は「乳がんは早期発見ができれば、決して予後が悪いがんではない」ことです。

仕事や家庭のことで多忙な中、定期的に検診に出向くことはなかなかハードルが高いかもかもしれません。しかし「乳がんの多い年齢」である「あなた」の存在は、あなただけのものではないと思います。市でも乳がん検診を行っていますので、この機会にぜひ検診を受けること、また普段から自己触診をすることをお勧めします。

当院の乳腺外科には乳腺専門医が4人常勤し、私を含め3人が女性医師です。乳がんの検診から診断、治療、緩和ケアに至るまで、一貫した質の高い医療の提供ができるように、診療科や職種を超えてチーム医療体制を整えています。

また、乳がん看護認定看護師による相談外来や、リンパ浮腫外来なども行っています。患者さんが安心して治療できる環境づくりを目指し日々診療を行っていますので、何かお困りのことがあればいつでもご相談ください。

乳腺外科副部長 大城 智弥